

次期学習指導要領は、教師が語り尽くす授業から学習者中心の授業への転換でもある。次期学習指導要領の「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を推進する方法として「学習リーダー（リーダー学習）方式」がある。これまで複式学級の中で広く行われてきた方法が、次期学習指導要領ピタッとあてはまる。この方法で授業を子供が創るすごさも見てきた。単に複式学級だけで行われるのではなく、通常の学級で行うことが望ましい。

～北海道大学複式学級の手引書プロジェクトチーム研修報告書(28. 3)～

1 リーダー学習とは 学級の児童生徒を「学習リーダー」として、学習を進める方法です。

2 学習リーダーの主な役割

＜教師の適切な関わり＞

児童生徒が、学習をするのは自分たちなので、「自分たちで授業を進め、自分たちで課題を解決する」という意欲を高めることが重要です。

教師は、課題の意識を高めたり、解決の見通しをもたせたり、個に応じた習熟問題を用意したりするなど、効果が出るように関わるのが大切です。

ア 学習の流れに従って、進行する。

イ 簡単な事項について、指名したり、指示したりする。

ウ 一人学習やグループ学習などの時間設定をする。

エ グループ学習などで、意見や考えを整理する。

3 リーダー学習実施上の配慮事項

- ・特定の児童生徒に固定せず、どの児童生徒もリーダーができるように指導する。
- ・児童生徒に、リーダーの役割や学習の進め方を理解させる。

4 学習の流れ

例) 国語科における学習の進め方（高学年用）

学習リーダー（グループ）	学級（グループ）全員
①学習の準備はいいですか。	①はい、いいです。
②前の時間に学習したことを言ってください。	②〇〇（の場面）を学習しました。
③今日は、どこを学習しますか。	③〇〇（の場面）です。
④〇〇さん、その場面を読んでください。	④はい、読んでもいいですか。
⑤今日の学習課題を言ってください。	⑤今日の学習課題は、〇〇です。
⑥今日の学習について先生からお願いします。	⑥（学習の仕方を知る）
⑦一人学習を〇分間、行ってください。	⑦（一人学習をする）
⑧グループでの話し合いを〇分間、行ってください。	⑧（机の移動）
⑨グループでの話し合いを止めてください。	⑨（机の移動）
全体で課題について調べるので、グループごとに発表してください。	
ア 主人公の行動について言ってください。	ア 主人公の行動は、〇〇です。言ったことは、〇〇です。
イ 課題についての考えを言ってください。	イ 私は、〇〇〇〇だと思います。
ウ その理由を言ってください。	ウ その理由は、〇〇したと書いてあるからです。〇〇と言っているからです。
⑩今日の学習のまとめをします。	⑩（まとめる。）
ア 分かったことは、何ですか。	ア 〇〇〇〇です。
イ 学習したことをノートに書いてください。	イ ノートに付け足しを書く。
ウ ワークシートに取り組んでください。	ウ 確かめをワークシートに書く。
⑪これで〇〇の学習を終わります。	⑪終わります。

◎これまで行ってきた高知県での実践と同じである

高知県で当初から学習リーダーを立てる方法を学校へ提示してきた。北海道の例と高知県の例が実に似ている。高知県では、この方法が学力の数値をあげたことに繋がった。教師一人で授業を行う授業では、「主体的・対話的で深い学び」とはならない。物言わぬ生徒がいる現状や教師がそのようにしてしまったことに気付いて欲しい。